

令和3年度農業経営セミナー「みどりの食糧システム戦略」を開催しました

令和3年1月12日（水）に「令和3年度農業経営セミナー」を現地およびweb配信形式にて開催し、認定農業者等の担い手や関係者等計48人が参加しました。

開催概要

目的	農林水産省は変化する地球環境や生産者の減少などの課題に対応するため、環境や人に優しい持続可能な農業を推進する「みどりの食糧システム戦略」を令和3年5月に策定しました。そこで本セミナーでは、当戦略の概要及び取り組みにかかる支援策を関東農政局の担当部局から説明して頂くほか、県内で20年以上にわたり有機農業で小松菜を栽培し、有機JAS認証も取得している株式会社プレマ代表取締役社長 飯野晃子氏を講師に迎えて講演を行います。
日時	令和3年1月12日（水）午後1時30分～3時30分
場所	群馬県 JA ビル 10階 第3会議室
参集者	持続可能な農業に興味関心のある農業者・市町村等関係団体等
内容	<p>講演「みどりの食糧システム戦略について」 講師 関東農政局 次長 堺田 輝也 氏</p> <ul style="list-style-type: none">・世界の環境問題の現状と日本の農林水産について・日本の有機市場の動向・持続可能な農業の具体的な取り組みの紹介と関連する国の施策 <p>講演「有機農業でサステナブルな未来を拓く！ ～プレマ・オーガニック・ファームの歩みと未来ビジョン～」 講師 株式会社プレマ 代表取締役 飯野 晃子 氏</p> <p>[来歴]</p> <p>大学時代にオーガニックな食と健康の世界に惹かれ、健康食と有機農業を研究。「日常の食テックにオーガニックフードを！」を掲げ、農業生産法人の経営と食育活動を行っている。有機栽培農家がほとんどいなかった20年以上前から小松菜の有機栽培を始め、圃場はグローバルG.A.P.も取得し、6次化にも積極的に取り組んできた。</p> <p>[内容]</p>

<ul style="list-style-type: none">・講演時点でハウス 63 棟 (2ha)、露地約 10ha を管理し、そのほとんどで有機小松菜を栽培。有機小松菜の一部は加工 (冷凍・乾燥粉末・生うどん) を行い販売している。・小松菜栽培のこだわりとして、土壌診断を行い不足しているミネラルを有機資材で補充したり、連作障害回避と地力の向上を目的に合間で緑肥を栽培することで土のケアを行ったりするほか、季節に合った品種を試験栽培により選定して安定供給に努めている。・有機生産者の観点から SDGs の取り組みを考える。 具体例)<ol style="list-style-type: none">1) 生産者は安全・安心・美味しい食べ物を消費者へ提供する責任を持ち、消費者もエコ＆ヘルシーな商品を選ぶ責任を持つ。2) 消費者の健康のために食べ物の残留農薬を抑え、生産スタッフの農薬被害のリスクも最小限にする努力。3) 持続可能な社会を達成するための信頼関係の構築 (農作業体験イベント等) など。・今後も有機栽培により人と地球の健康を増進し、持続可能な発展を目指していく。

問い合わせ先

- ・群馬県担い手育成総合支援協議会事務局

〒371-0854 前橋市大渡町一丁目10-7 (群馬県公社ビル5階)

TEL 027-280-6171 FAX 027-255-6461

- ・群馬県農政部農業構造政策課

TEL 027-226-3024 FAX 027-225-0096